



高円宮杯 2013ホッケー日本リーグ【 女子 】 第 3 節 第 6 日

開催日時 4 月 20 日 (土) 会場 広島広域公園第二球技場 天候 曇りのち雨

【全試合結果】

第1試合 10:00	立命館大学ホリーズ	1	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ
第2試合 11:40	東海学院大学	3	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	山梨学院 CROWNING GLORIES
第3試合 13:20	ソニーHC BRAVIA Ladies	3	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	グラクソ・スミスクライン
第4試合 15:00	コカ・コーラウエストレッドスパークス	2	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	南都銀行SHOOTING STARS

【各試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学ホリーズ 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 6
2 勝 0 分 3 敗

勝点 1
0 勝 1 分 4 敗

<得点>

立命館大学：47分坂井

天理大学：

<戦評>

立ち上がりから学生同士の激しい攻防が続く、前半18分天理はPCを獲得するも得点には至らず、その後立命館も22分、31分と立て続けにPCを獲得するも得点には至らず0-0で前半戦が終了した。後半に入り立命館がペースを掴み始める。47分立命館はPCを獲得し、シュートのリバウンドをFW#7坂井が押し込み待望の先制点を得る。その後天理がPCを立て続けに2本獲得するも立命館の堅い守りに阻まれ点を決めきることができず、そのまま立命館が1点を守りきり逃げ切った。

テクニカルオフィサー	藤村 利道	アンパイア	山本 恵美
ジャッジ	富田 恭平、新本 勝		内田 太

第2試合

東海学院大学 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 山梨学院 CROWNING GLORIES

勝点 9
3 勝 0 分 2 敗

勝点 4
1 勝 1 分 3 敗

<得点>

東海学院：13分清水、58分早坂、61分清水

山梨学院：11分松瀬、63分田中

<戦評>

山梨学院のセンターパスにより試合が始まった。試合開始早々山梨学院はPCを立て続けに獲得するも先制点を得ることができず、両者激しい攻防が続く。前半11分山梨学院MF#8松瀬がサークル内で受けたパスをゴール右隅に決め先制点を得る。しかしその2分後、東海学院のFW#9清水がリバースシュートを決め同点に追いつく。その後も激しいボールの奪い合いが続く、29分山梨学院FW#12佐藤が左サイドから巧みなスティックワークで相手を抜き去りリバースシュートを打つも枠を外れ勝ち越すことができず、そのまま前半戦が終了した。後半に入り両者ひとつずつPCを獲得するも追加点を得ることができず、中盤での奪い合いが続く。58分東海学院はPSからDF#4義浦が確実に決め、流れを掴む。その4分後PCを得た東海学院は63分にPCを獲得し、JFB#1田中がフリックシュートをお、え、東海学院との差を1点にする。その後68分に山梨学院がフリーでヒットシュートを打つも得点には至らず、東海学院が3-2で勝利を収めた。

テクニカルオフィサー	平尾 豊	アンパイア	中元 大輔
ジャッジ	山崎 泰敬、柳田 剛志		我妻 順子

第3試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 グラクソ・スミスクライン

勝点 12
4 勝 0 分 0 敗

勝点 3
1 勝 0 分 3 敗

<得点>

ソニー : 6分金、24分金、53分山本
グラクソ : 67分伴田

<戦評>

前半開始早々PCを獲得したソニーはMF#5中川のプッシュをFW#9金がタッチシュートを決め先制点を得る。その後もソニーの攻撃が続くがグラクソの堅い守りに阻まれ追加点を得ることができない。前半23分ソニーのFW#9金がリバーシュートを決め待望の追加点を得る。両チーム一進一退の激しい攻防が続くがお互い点を得ることができず前半戦が終了した。
後半も前半と変わらずソニーの攻撃が続く、53分MF#20山本がGKが弾いたボールをヒットで打ち込みグラクソを突き放す。対するグラクソも67分、カウンターからPCを獲得しFB#3伴田が豪快なヒットシュートを決め意地を見せる。その後も激しいボールの奪い合いが続くが両チーム得点には至らず、3-1でソニーが勝ち点3を収めた。

テクニカルオフィサー	藤村 利道	アンパイア	安岡 裕美子
ジャッジ	新本 勝、富田 恭平		亀田 和美

第4試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行SHOOTING STARS

勝点 12
4 勝 0 分 0 敗

勝点 6
2 勝 0 分 2 敗

<得点>

コカ・コーラ : 40分李、57分三橋
南都銀行 :

<戦評>

南都銀行のセンターパスにより試合が始まった。前半6分コカ・コーラはFW#7三橋のパスをFW#9新井がシュートを放つも得点には至らず。両チーム激しいボールの奪い合いが続く。前半14分南都銀行FB#5勝山が倒されPCを獲得するもコカ・コーラの堅い守りに阻まれ先制点のチャンスを逃す。その2分後南都銀行のFW#13前田とFW#16佐々木の絶妙なパスワークでシュートを放つもGK#1吉川のファインセーブにより点を得ることができず0-0のまま前半戦が終了した。
後半に入りコカ・コーラがペースを掴み始める。38分PCを獲得したコカ・コーラはFB#18李がフリックシュートを決め、待望の先制点を得る。その後もコカ・コーラは46分立て続けにPCを獲得するも南都銀行のDFに阻まれ追加点をえることができない。後半56分コカ・コーラFW#7三橋がサークル内でパスを受けリバーシュートをゴール左に決め追加点を得る。その後もコカ・コーラはPCを獲得するも追加点を得ることができず、2-0でコカ・コーラが勝利を収めた。

テクニカルオフィサー	平尾 豊	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	柳田 剛志、山崎 泰敬		森本 道理